

9/28 塩曳潟水生生物調査

秋田水生生物保全協会、県立新屋高等学校理科研究部の協力により、市民ボランティアを募集し、子ども17名、大人9名の計26名で調査しました。今回は、東北の日本海側の動物園と水族館が協力して活動する3園館連携の一環で、男鹿水族館GAOと鶴岡市加茂水族館の担当者も

参加し、ゼニタナゴは定置網で7尾採捕できました。参加者からは「自分で網を使って魚を捕ったことが楽しかった」という感想が多く、希少種ゼニタナゴの存在を実際に目で見て触って体験してもらうことで塩曳潟の大切さを実感してもらうことができました。



●定置網による調査

●希少種ゼニタナゴ



どうぶつパレード

10/6 秋の動物ふれあいフェスティバル

秋晴れの中開催し、人気のどうぶつパレードではラマやペンギンが歩く様子を写真で撮るたくさんのお客様でにぎわいました。動物舎裏側見学では参加者は普段入れないクマ、キリン、ゾウ、チンパンジーの展示場に入り、動物の目線で展示場を見て回ったり動物のために作られた遊具で遊んだりして楽しんでもらいました。



●クマ展示場の中を体験